



マイペースで走る生徒たち

長期予報では、この冬はとも寒そう。
 そんな折、中学校では12月5日から10日までの6日間、両国方面の田んぼ道を走る約2.5kmの向寒マラソンを行いました。



好試合を繰り広げる少年剣士

小学団体3位まで独占 少年剣道大会

11月20日、教育委員会、町剣友会（平山敬止会長）主催による「第五回横芝町少年剣道大会」が、横芝中学校体育館で行われました。
 毎年大勢のちびっ子剣士が集まるこの大会、今回は郡内外から45チーム、300名が参加し、技をぶつけ合いました。
■大会結果（町内・敬称略）
 ●小学生団体
 優勝 横芝フタバ剣友会A
 準優勝 横芝剣友会A
 第3位 横芝剣友会B
 ●中学生男子団体
 優勝 横芝中
 ●小学生個人
 第3位 浅野伸一郎（横芝剣友会）
 ●中学生男子個人
 第3位 渡辺茂利（横芝中）

文芸

俳句

立食ひのラーメン吹くや冬帽子
 宇井 芝童
 老学の友とし芭蕉句帖かな
 海保 きみ
 缶ビール凍て落つ自動販売機
 勝又やすのり
 農を嗣ぐ子もなし畦の寒鴉
 鈴木 草庵
 朝時雨過ぎて眩しき陽の光り
 鈴木 南知
 奥入瀬の句碑に木洩れ日芭蕉の忌
 行方はじめ
 朝市に山のしぐれのひとはしり
 成田栄三郎
 帰る子の尾灯遠のく小夜時雨
 藤代 ゆう
 布裁つに曆見る癖初仕立
 若梅あやめ
 時雨るるや独りの部屋の置炬燵
 (選者) 土屋 栗水



短歌

軽業のごとく梯子を上りゆく若
 き庭師の動作をみあぐ
 斉藤 秀男
 みんなみの海に戦ひ還りたる友
 らはすべて古稀となりたり
 斉藤 要
 贈る品買ひ迷ふ客の辺にたちて
 契めることは選りをり吾は
 斉藤 幸子
 棚に熟れさがれるむべの紫に夕
 日さし入り透るがにみゆ
 佐瀬 初音
 霜の夜をいかにすごせし蜜蜂か
 小春の朝をいまだ動かさず
 渋谷 静子
 腕も組まず接吻もせず共にこし
 妻を逝かせて十年経ちぬ
 土屋 栗水
 坂道を駆けおくりければ背中押す
 風にも掌あると思へり
 西山満里子
 生前に妻が通せし糸の尻結びて
 ありぬボタンをつける
 萩原 信一
 草を刈り枝うち守りこし杉森の
 ゴルフ場つくと今切られゆく
 吉岡 信子
 夫癒へて共にある日のなほしば
 し天より給ひ新年迎ふ
 (選者) 斉藤つね子